

グループ名：グループ5(ドイツ語とロシア語グループ)

作成者氏名：田原憲和(ドイツ語)、オクサーナ・ボンダレンコ(ロシア語)、池谷尚美(ドイツ語)

5+5 ステップ: 語彙

語彙リスト

Wurst (ソーセージ), Sauerkraut(ザウアークラウト), Pommes frites(フライドポテト), Döner Kebab(ドネルケバブ), Müsli(ミューズリ、シリアル食品), Käse(チーズ), Vollkornbrot(全粒粉のパン), Bretzel(ブレーツェル), Gulasch(グーラッシュ・スープ), Apfelstrudel(アップルシュトルーデル、リンゴのパイ)

プレゼンテーション

- ・それぞれの料理の写真を黒板に貼る
- ・学生の机にそれぞれの名称のカード (ドイツ語) を配布する
- ・教師がそれぞれの写真の名称を発音し、学生はそのカードを探す
- ・写真の下にそのドイツ語のカードを貼る

言葉で遊ぼう

a. 「食いたい」「食べたくない」の2つにカードを分ける。【遊び1】

→ これはどんな食べ物かを説明する。

b. 教師が「〇〇食いたい人〜?」 Wer möchte ... essen? と尋ね、手を上げてもらう。【遊び2】

c. 仲間外れを探そう (Wurst - Kebab - Sauerkraut - Gulasch : 肉が入ってるかどうか) (Vollkornbrot - Bretzel - Apfelstrudel - Käse : オープンで焼くかどうか) 【遊び3】

インプットアクティビティー

a. 食べ物が書かれたチェックリストを配布し、ベジタリアンが食べられるものにチェックを入れる (文字で与える)。

b. [朝食・昼食・夕食に食べそうなもの] で分けて、下記のような表にカードを使って分類する。

Frühstück	Mittagessen	Abendessen
Vollkornbrot		

アウトプットアクティビティー

クイズ (日本語で料理を説明して、学生がどの料理かを答える)

- ・パンに野菜と肉を挟んだ食べ物は? → “Kebab”!
- ・生地にリンゴを入れてオープンで焼いた食べ物は? → “Apfelstrudel”!

文法を入れる(文法の部分を見よ)

5+5 ステップ: 文法

文法構造・表現

食べ物の好き嫌いを表現できる。

Ich esse gern / Ich esse nicht so gern

プレゼンテーション

下記の会話を教師が発音して聞かせる。

A : Heute esse ich Gulaschsuppe.

Isst du auch gern Gulaschsuppe?

B : Nein, ich esse nicht so gern Gulaschsuppe.

インプットアクティビティー

先生が前で「私は～が好き/嫌い」という文章をいくつか読み上げる。

学生は先生がその食べ物を「好き」だと思ったら右手、「嫌い」だと思ったら左手をあげる。

アウトプットアクティビティー: メカニカル

イラストで好き、嫌いを表示して、学生がそのイラストに対して適切な文を自分で言う。

a. Maria isst gern Wurst. (essenの3人称単数は既習事項とする)

b. Ich esse nicht so gern Kebab.

アウトプットアクティビティー: ミーニングフル

Ich esse gern Kebab. Ich esse nicht so gern Pommes frites.のように自分が好きなもの、好きではないものを言う。

アウトプットアクティビティー: コミュニカティブ

クラスで食事会を企画する。

Was isst du gern?と相手に聞き、Taro isst gern Sauerkraut.のように聞いた答えを全員に伝える。

好きなものや嫌いなものを尋ねた結果をクラスで共有し、どんな食べ物を食事会で用意するか決める。